

電 設 新 聞

発行所
 社団法人
福島県電設業協会
 発行人 大槻 清
 郵便番号 960
 福島市松浪町9-6
 (福島県電協会館)
 電話 (0245)33-6226
 編集印刷 福島タイムズ社
 福島市御山字井戸上64-5

日興の
**中期国債
 ファンド**
 便利で 有利な 好利回り

日興証券
福島支店
 福島市大町4-4 ☎960
 ☎0245-22-7111

技術革新へ向け大きな一歩

第1回 体験発表会を開催

県営繕課長らがアドバイス

会員の技術力向上を目指し、第一回工事施工体験発表会が一月二十一日、来賓多数を招き福島市の電協会館三階大会議室で行われた。昨年から準備が進められていたこの発表会では、音響測定や近代防災システム、また施工管理等がテーマとされ三名がこれまでまとめた資料を基に質の高い発表を堂々と行い、今後へ向けて大きな成果を残した。

興味深い3テーマで

発表会は、本協会の黒田正之技術委員長が開会のことばを述べるとともに、開催までの経緯を説明した。次に大槻清会長があいさつ「我々電設業界を取り巻く環境は厳しい。なげでゆきたい」と述べた。来賓を代表して、県の橋本博三副知事が「ユニークで画期的な心づくろいまでの企画です。この発表会が今後続き



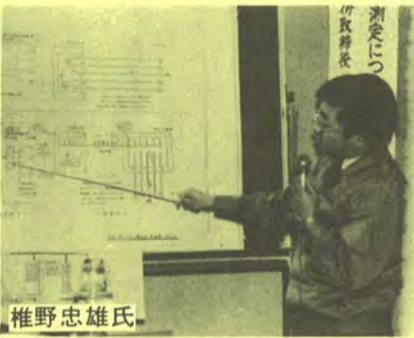
(右から) あいさつする大槻会長、発表者を激励する橋本課長、講評を述べる園辺補佐



発表会には全会員が出席した



大槻賢弥氏



椎野忠雄氏



三浦光博氏

会場にはモニターTV

参加者は真剣そのもの

この体験発表会は、大槻会長ら執行部の発表、技術委員会を中心とする発表、発表内容等スをはじめとする技術者のアドバイスを図ることが目的。昨年十二月九日には、正副会長・総務委員を前に「ハーパー」が実施され、発表内容等スをはじめとする技術者のアドバイスを図ることが目的。また発表会当日は、会場にはじめて

皆さんの糧となることを期待します」とあいさつした。来賓紹介のあと発表に移り大槻電設工業専務の大槻賢弥氏が「福島市公会堂電気設備改修工事に伴う音響測定について、導入されているR型について、高柳電設工業現場代理人の椎野忠雄氏が「県立医科大学附属病院建設に伴う近代防災システムについて」また三浦電設工業専務の三浦光博氏が「県いわき工業試験場新築電気設備工事の施工管理、また現場施工におけるTQC(トータル・クオリティ・コントロール)の

表を行った。このうち大槻氏は、福島市公会堂電気設備改修工事の際の音響測定調整を発表のテーマに取り上げ、会場にピンクノイズ発生機や三分の一実時間周波数分析機、コンピューターなどを持ち込み、残響時間周波数測定を実施した。椎野氏は、現在福島市松川町浅川地内で建設が進められている県立医科大学附属病院における近代防災システムについて、導入されているR型システムの特長や利点、また施工上の問題点等について述べた。また三浦氏は、さる五十八年一月完成した県いわき工業試験場新築電気設備工事の施工管理、また現場施工におけるTQC(トータル・クオリティ・コントロール)の

園辺補佐が講評

発表終了後、県の園辺利夫営繕課長補佐が三人に対し、それぞれの感想を述べたあと「堂々たる発表だった。この成果を日常の業務に生かしてほしい。これが技術力向上につながる」と講評し、最後に遠藤雄蔵副会長が閉会を告げ全日程を終了した。



来賓も多数が出席

技術で創造する
National 松下電工

センサも各種機器も1本の情報伝送ラインでリンク。革新的な建物設備のネットワークシステムです。

①シンプル配線 ②シンプル施工 ③シンプル設計

シンプル思想。

中央監視盤から制御端末機器まで、ビルドアップ方式のシンプル思想で一元化。標準化された豊富なコンポーネントで、用途に合わせた組み合わせが簡単にできます。

ザ・システム 電気設備制御システム
 ニュー・メックス
New-MECS

●お問い合わせは、——松下電工・福島電材(営)・(〒963)郡山市石塚111番地 ☎(0249)44-3331へ。

18日に第2回地域懇談会

(社)県建産連・郡山で開催

（社）県建設産業団体連合会（管長忠男会長）は、二月十八日午後二時から郡山市で第二回地域懇談会を開催する。地域懇談会は、昨年十月に第一回目が会津若松市で開かれ、官民合わせて百二十名が参加し、地域経済活性化へ向けて公共事業の役割等について討議し、入札制度合理化対策等について問題提起がなされた。

この催しは、その時期、その地域にマッチしたテーマを設定し、国や県（公社・公団を含む）の関係機関及び当該地域の各市町村長らと意見の交換を行うとともに、地域の情報収集・提供、また関係機関への要望等を行うなどして、基幹産業としての建設業に対する認識や理解を深めることが目的。

今回は、大槻会長ら建産連役員九十二名をはじめ、国や県の関係者、市町村長ら三十名が参加する予定で、前回同様、井上孝参議院議員の「最近の公共事業をめぐる諸問題について」講演に続き、フリートークキングの形式で懇談が行われることになっている。会場は、郡山市桑野の郡山会館。

県と建産連主催 経営合理化講習会も

また県と（社）県建設産業団体連合会の主催で毎年行われている「福島県建設業経営合理化講演会」は、地域懇談会と同日、二月十八日十二時半から郡山会館で開かれる。

来月7日から 建築物防災週間

建築物防災週間

「一般住民を対象に、建築物に関する防災知識の普及に努めるとともに、防災関係法令及び制度の周知徹底等を図り、建築物防災対策の推進に寄与すること」を目的に、三月七日から十三日まで、六年度下期の建築物防災週間が実施される。

今回の重点事項は、次の通り。

- ①建築物の防災対策に関する普及・啓蒙
- ②建築物についての防災知識の普及、また防災関係法令お

国、公団関係が開始 入札参加資格審査受付

入札参加資格審査受付

国・公団関係の「六十二年入札参加資格審査」申請書の受付が開始された。提出要領は、次の通り。

- ①提出期限②受付年度③提出先④用紙頒布先⑤の順
- 東北地方建設局
- ①二月一日～二十八日の隔年制の追加受付③同局総務部契約課④東北建設協会（福島市黒岩）
- 北陸地方建設局
- ①五月二十四日～三十一日、十一月二十四日～三十日のいずれかの隔年制の追加受付③同局総務部契約課④東北建設協会（福島市黒岩）

蓬萊団地で住宅展

県住宅供給公社

県住宅供給公社は、来月二日から三十日までの十一日間、福島市の蓬萊団地でモデル住宅の展示を行う。

この催しは、自然環境に恵まれ、かつ都市機能を備えた蓬萊団地に良質の住宅を展示し、多くの市民に住まいに関する情報を提供することが目的。後援は、住宅金融公庫、県地域住宅産業協議会、（社）県建設協会福島支部など。今回の会場は蓬萊団地の蓬萊小学校南側。出展会社名は次の通り。（21号地は無し）

- 1 ウンノハウス福島営業所
- 2 積水ハウス福島営業所
- 3 ミサワホーム福島、4 大和ハウス工業福島営業所、5 同
- 6 同、7 多田建設、8 同
- 9 佐藤工業、10 同、11 氏家工務店、12 福島実業建設、13 同、14 村越住建福島支店、15 同
- 16 安藤組、17 高木建設、18 東日本ハウス、19 菅野製材所、20 東建設、22 亀谷建設、23 溝口建築事務所、24 安斉建設、25 同



県建築文化賞に輝いた福島ホール

県建築文化賞に輝いた福島ホール。この催しは、自然環境に恵まれ、かつ都市機能を備えた蓬萊団地に良質の住宅を展示し、多くの市民に住まいに関する情報を提供することが目的。後援は、住宅金融公庫、県地域住宅産業協議会、（社）県建設協会福島支部など。今回の会場は蓬萊団地の蓬萊小学校南側。出展会社名は次の通り。（21号地は無し）

県住宅供給公社は、来月二日から三十日までの十一日間、福島市の蓬萊団地でモデル住宅の展示を行う。この催しは、自然環境に恵まれ、かつ都市機能を備えた蓬萊団地に良質の住宅を展示し、多くの市民に住まいに関する情報を提供することが目的。後援は、住宅金融公庫、県地域住宅産業協議会、（社）県建設協会福島支部など。今回の会場は蓬萊団地の蓬萊小学校南側。出展会社名は次の通り。（21号地は無し）

◇変圧器の総合メーカー

愛知電機製作所 株式会社

◇高圧スイッチの専門メーカー

大垣電機製作所 株式会社

◇粉体混合機、温水ボイラー

愛知電機商事(株) 0222 21-5576

スポットライトから システム調光まで

MARUMO ELECTRIC CO., LTD.

丸茂電機株式会社

本社・営業部 〒101 東京都千代田区神田須田町1-24 TEL (03)252-0321
 大阪出張所 〒530 大阪府北区野崎町9-6 東梅田ビル TEL (06)312-1913-1922
 名古屋出張所 〒460 名古屋市中区栄4-1-1 (中目ビル) TEL (052)263-7425(代)
 福岡出張所 〒810 福岡市中央区大名1-14-45 (福岡通ビル) TEL (092)741-4762(代)

第4回 県建築文化賞が決定

福島県や（社）県建設協会など、奨励賞三点、特別部門賞二点、四者が主催し、本協会などが後援する第四回福島県建築文化賞がこのほど決定した。表彰式は、十七日午前十時より県庁会館で行われる。

審査の結果、建築文化賞に竣工した建築物を対象に募集は、福島市入江町の福島ホール九件、民間の建築物九件、合わせて十八件が応募した。審査は、川上秀光東京大学工学部教授ほか学識経験者等九名が担当し、まちなみに調和し、美しいまちなみに寄与しているもの、親しみやすさなど九つの観点から行われ、第一次で書類審査、第二次で現地審査が行われ、最終的に建築文化賞一点、準賞一点、

- ◎奨励賞(三点)
- ▽クローネ郡山(郡山市桑野)
- ▽建築主 尾津久子▽設計 清水公夫研究所▽施工 陸山工務店
- ▽三春町歴史民俗資料館(田村郡三春町)▽建築主 三春町▽設計 大高建築設計事務所▽施工 大林組仙台支店
- ▽日立建保猪苗代猪苗代保養所
- ▽日立製作所日立工場
- ▽設計者 日立建設設計▽施工 大成建設
- ◎特別部門賞(二点)
- ▽金山町多目的研修センター(大沼郡金山町)▽建築主 計 佐藤建築設計事務所

文部省

- ①二月一日～二十八日の隔年制の追加受付③大臣許可間、福島市の蓬萊団地でモデル住宅の展示を行う。

医大現場で研修

相双支部が13日に

本協会相双支部は、相双地区管工事組合と合同で二月十三日、福島市松川地内に建設中の県立医科大学附属病院で電気設備工事を対象に現場研修会を開く。

支部からは、二十三名が参加の予定で、午前十時に現場入りし、工事概用の説明を受け、午後から見学する。

第1回工事施工体験発表会より

—県立医大附属病院建設に伴う—

近代防災システムについて

完成予想図



県立医科大学の移転整備計画は、長期展望のもとに医学教育や医学研究の充実医療部門の充実改善及び県民保健医療の質的向上と、機能的運営を目指し進められております。新施設は、自然環境を生かし医科大学ゾーンと病院ゾーンを機能的に分けて配置されており、各施設を渡り廊下でつなぎ、災害時の安全性、諸機能に對し将来にわたって十分対応できるように計画されており、さらに水の再利用を図るほか、エネルギーの集中化等、省力化省エネルギー、ライフサイクルコストの低減をも考慮され、また緑の多い周辺環境と一体となる施設となっております。(福島県立医科大学移転整備事業概要より)



高柳電設工業株式会社 工事部 椎野 忠雄

システムの概要

県立医大附属病院は地下一階、地上十階、塔屋一階からなる高層棟と南側、北側低層棟で構成され、建築面積一三、八二〇㎡、延床面積五六、一五六㎡とかなり大規模な建物となります。ここでは、複合R型防災システム(自火報+防排煙+消火)を中心とした最先端の技術を活かした総合防災システムが導入されます。建物内に防災センサーが設けられ、総合監視盤が設置されてここですべての防災設備の管理が行われます。総合監視盤(デスクタイプ)では、自動火災報知設備を中心に、非常電話、非常放送設備、防排煙設備、消火設備、非常エレベータ、非常通報設備など防災活動上必要な各種の機能をすべて集中監視・制御し、全ての情報をCRT(二台)あるいはグラフィック表示にて管理者に提供します。又、制御は、基本的にはソフト処理により、すべて自動運動ですが、バックアップとして手動でも操作可能となっています。又、非常電話についても、従来の非常電話ではなく、業務用の電話として利用できるものでメンテナンス

等に役立ちます。現場施工上における問題点と今後の課題について。躯体工事と仕上げ工事が並行する現場状況であり、確実な工程を把握し、資材の落ちちなき先行手配と適正な人員配置でロスのなき管理運営化を遂行し、また、膨大な建築面積であり、防災機能面でもより深く設計意図を考慮し、感知器の適正配置等のハード的にはもちろん、防災



急ピッチで建設が進む医大附属病院

機能のソフト的にもより完璧な総合防災システムとなる様に技術的に検討施工します。防災システムの将来展望。大型の建物には、今後益々R型システムが導入されていくと見られます。現在、火災感知器は、熱・煙等によって検出回路が動作し、火災であることが知られるデジタル型(ON/OFF)であり、非火災報(誤報)等の対策から、アナログ型の感知器の研究がされています。これは、煙が発生した時点から連続的にその濃度を検出していくものであり、発報するレベルを決定できるものであります。これを応用して、どの様に利用していくかというソフト的な考え方は、まだまだ煮つまっていない段階であります。一例として煙の濃度によって避難方向を決定して報知する等考えられています。今後の展望としては、前述した様にアナログシステムを用いた近代防災システムというものがどんどん考えられ、そのソフト面の応用も充実したものに、非火災報防止に大いに役立っていく方向になるものと考えられます。防災設備が普及、強化されて来ましたが、それにもかかわらず、火災事故はその跡をたたく、昨年も火災件数、損害額、失われた人命とも驚くべき数字を示しています。将来、益々建物が高層化し、地下に発展し、大型、複雑化する事態に備え、防災設備の強化、拡充がより重要視されて来ている。

管理運営しやすいR型

R型防災システム概説。最近、建築物の高層化・大型多層化及び地下街の巨大化などにより、火災は大規模且つ、複雑化し、死傷者も著しく増加しております。その複雑多様化する建物に伴い、これらの防災システムに対する考え方も徐々に変わってきています。従来は、P型システムと呼ばれるものが主流でしたが、建物が高層化、複雑化するにつれ、インテリジェントビルディング(高機能ビルディング)としての性格をもち、それに対応する為IC使用のマイクロプロセッサ



天井内の幹線配管の作業 (工事は仕上げの段階に入る)

(CPU)を内蔵したR型防災システムが導入される様になってまいりました。現在、福島市松川町浅川地内の県立医科大学附属病院建設においても、以上の理由により防災システムとしてR型システムが導入されることになっております。R型防災システムは基本的に、伝送装置を用いたR型受信機・中継器間の電線本数を著しく減らし、複雑なシステムとの処理に対応するなど、将来の増改築等に対してもフレキシブルな対応ができる特徴を持っています。又、R型システムとCRTディスプレイ等の表示装置を接続して管理者にとっては、非常に管理しやすいシステムを構成しております。「建物」は、ほとんど複雑、大型化しますがその建物を管理する防災システムは、できるだけソフト面にて対応できるように、管理者

(4面へつづく)

HITACHI logo and advertisement for fire alarm control systems, including contact information for the Fukushima branch.

TAKAOKA advertisement for VT-700 thin film circuit breakers, featuring the Takasaki branch.

Mitsubishi Electric advertisement for electrical wiring and cables, listing various regional branches.

IYAMA advertisement for HID lighting products, highlighting energy efficiency and application in various settings.

TERASAKI advertisement for circuit breakers, including contact information for the Takasaki branch.

Advertisement for a company specializing in audio-visual system design and maintenance, listing regional offices.

(3面からつづく)

3種煙感知器、防火戸、シヤッターをはじめ無電圧接点で取り込める機器の状態監視と、これらの機器の制御を行います。又、伝送制御部を有し、防災センターの複合R型

受信機へ監視情報の送信と制御方式の違いにより、P型・R型と区別されています。P型の信号の伝達方式の違い、すなわち、P型がハードのみで構成されているのに対して、R型はハードとソフト両面で構成されていることです。R型システムの利点として、(1)幹線本数は主信号線四本(応答線二本+制御線二本)と電源線六本(中継器、感知器、端末機器制御用として各二本ずつ)だけで省線化(2)大幅なIC化により、デジタル

式です。要するに、P型とR型の大きな違いは、受信機へ機がコンパクト(3)複雑な防排煙末端機器との連動はソフト処理で容易に可能(4)将来の増設時に対しては、システムアップが容易(5)防災センターのスペースを有効利用する上でも、P型は回線数に比例してそのスペース占有率が大きくなるが、R型は高密度コンパクト設計で回線数に左右されず、一定の省スペースです。以上がR型システムの利点です。



中央手術部門診察室で2重天井内の配管をチェックする椎野氏

経営基盤を第一に 61年の重点目標を設定

本協会は、新年早々の一月六日午後、正副会長・支部長会議を開き、協会の当面する問題について協議した。当日は、会議に先立ち正副会長、支部長、常任相談役、それに中島電気工事工業組合理事長らが午前十時半に県庁に集合し、県三役をはじめ関係部課長、教育庁、警察本部、県議会、県住宅供給公社及び東北電力福島支店や建設関係友好団体に、新年のあいさつ廻りを行った。

その後電協会館にもどり、本協会は、新年早々の一月六日午後、正副会長・支部長会議を開き、協会の当面する問題について協議した。当日は、会議に先立ち正副会長、支部長、常任相談役、それに中島電気工事工業組合理事長らが午前十時半に県庁に集合し、県三役をはじめ関係部課長、教育庁、警察本部、県議会、県住宅供給公社及び東北電力福島支店や建設関係友好団体に、新年のあいさつ廻りを行った。

は総務委員会で検討してゆくことを申し合わせた。

重点目標として、経営基盤の確立方策である①民間工事の受注調整の共同受注②誘致企業への対策③公共事業増大の陳情などを取り上げることとした。

また技術の革新策として①ソフトウェアの開発研究②工事の省力化、施工の開発について一などが提案され、活発な意見交換が行われ、これら

正副理事長会議開く
県電気工事工業組合は、一月二十日の午前十時半より福島市の電協会館で、今年第一回目の正副理事長会議を開いた。会議には、中島春記理事長ら六人が集まり、当面する諸問題について討議した。まず中島理事長があいさつ「今後、我々が活力ある発展をしていくために、あらゆる対応をしてゆかなければならぬ。指導機関として、新しい視野を持ち、積極的に施策を打ち出してゆきたい」と新年の抱負を述べた。

続いて議事に移り、先に開催された全日電工連理事会の報告について話し合い、保守管理の永井信殿(郡山電工株式会社)一月十六日死去。ご逝去を悼み、心からご冥福をお祈り申し上げます。

新社長には一月三十一日、孫の永井敏夫氏が就任した。

ソフトウエ
地元活用を陳情
会長らが上京
大槻清会長と遠藤雄蔵、国

2回目の現場研修
郡山支部・県工事対象に

協会
協会
協会

協会
協会
協会

協会
協会
協会



吉田、坂本両氏に敬意

吉田七元会長、坂本博太郎前会長の功績を称えて、一月二十一日午前十一時三十分から電協会館で両氏の写真の掲額式が行われた。

式には、吉田、坂本両常任相談役をはじめ、正副会長らが出席し、除幕を終えたあと大槻会長が両氏の労をねぎらうとともに、今後協会の発展に力を貸してほしいと述べた。

これに対し、吉田、坂本両氏は「協会発展のため今後も協力してゆきたい」と感謝の意を表わした。

会長室に掲額

吉田七元会長、坂本博太郎前会長の功績を称えて、一月二十一日午前十一時三十分から電協会館で両氏の写真の掲額式が行われた。

2回目の現場研修

本協会郡山支部では、さる一月二十四日県発注工事の現場を対象に本年度二回目の現場研修会を実施した。

研修会には、成田幸一支部長をはじめ、支部会員及び現場代理人ら四十名が参加し、県営繕課より園辺利夫課長補佐を招き、県郡山建設事務所建築課の菅野喜代文電気技師

協会のうごき

- 1月
- 6日 県庁等新年あいさつまわり(正副会長、支部長、相談役)
- 7日 正副支部長会議(正副会長、支部長)電協会館
- 7日 知事招待新年会(会長)知事公館
- 9日 佐藤栄左久連合後援会1986新年会(国津副会長)郡山ビューホテル
- 10日 通産省、国会議員、県東京事務所へ新年あいさつまわり
- 11日 建築3団体合同新年会(会長)ホテル辰巳屋
- 11日 鈴木省吾法務大臣歓迎会(会長)自民党会館
- 11日 故渋谷直蔵代議士告別式(国津副会長)石川町
- 13日 協会中間監査
- 17日 会津支部新春技術懇話会(会長、専務)
- 17日 建設センター
- 19日 建設センター
- 19日 故永井信氏告別式(会長ほか)郡山市
- 21日 第1回工事施工体験発表会、電協会館
- 21日 協会新年会
- 30日 総務委員会(総務委員)電協会館

高低圧配電盤・自動盤・監視盤・計装盤
分電盤・コントロールセンター・その他

株式会社 山形電機製作所
福島営業所
所長 高橋 実

〒960-11 福島市大森字宮ノ前55の14
TEL(0245)46-1321・FAX(0245)46-1322
本社 山形市大字十字蓮窪1318-5 TEL(0236)86-4316

営業所/山形・秋田・盛岡・仙台・福島・宇都宮・東京

受変電設備の総合メーカー

- MDRIC計測システム
- DW式監視制御システム
- 屋内外閉鎖型配電盤
- コントロールセンター
- 各種自動制御盤
- 計装盤

株式会社 宮城電機製作所

本社 工場 〒980-01 宮城県宮城郡利府町飯土井字長者前51 ☎022356-5111(代)
東北営業所 〒980 仙台市双葉ヶ丘一丁目45番8号 ☎0222(34)3311(代)
東京営業所 〒170 東京都豊島区南大塚二丁目2番5号 ☎03(947)6581(代)
福島出張所 〒960-01 福島市北矢野目字成田小屋12 (東開商事ビル3階) ☎0245(53)6651
いわき営業所 〒970 いわき市平上荒川字安草48 (山崎ビル2階) ☎0246(28)1491

スリムなステンレスケース。メンテナンスフリー

高圧ガス負荷開閉器
7200V 200A

自動式(瞬時励磁形)
GSN-A形
手動式
GST-A形

株式会社 戸上電機製作所
本社・工場 〒840 佐賀市大財北町1-1 ☎0952(24)4111 FAX0952-26-4594
仙台営業所 〒980 仙台市中央1丁目2-3第一ビル ☎0222(61)2261 FAX0222-61-2263

配電盤専門メーカー
Furukawa

配電盤・制御盤・分電盤
FMAC監視制御システム・FMAC計測システム
FMAC-μマイクログコンピュータ・FMAC-MSシーケンスコントローラ
F55-8A自動力率制御継電器・データロガ・ロードチェッカ
板金から組立まで一貫作業の

古川電気工業株式会社
代表取締役社長 茂泉 嘉佐

本社 仙台市扇町2丁目1-10 TEL(0222)36-3327(代)〒983
工場 仙台市扇町2丁目1-10 TEL(0222)36-6317(代)〒983
支店営業所 東京、仙台、盛岡、青森、秋田、札幌
郡山営業所 福島県郡山市並木4丁目5-2 TEL(0249)34-0859(代)〒963

所長 松田 貴充

エネルギーとエレクトロニクスの

FUJIELECTRIC

富士電機

富士電機株式会社 東北支社
〒980 仙台市一番町一丁目2番25号
(仙台NSビル) ☎(0222)25-5351

技術開発で産業界に貢献する
配電盤製造業。

(製造品目)
高低圧屋内外キュービクル、各種分電盤
制御盤、操作盤、計装盤、設計製作

株式会社 三陽電機製作所
いわき市鹿島町久保字飯栗田8番地
TEL(0246)58-3801(代)